

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成25年度分)

法人名	独立行政法人造幣局	
案件番号	25-(1)-1	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	貨幣極印下地 12,350個	
契約締結日	平成25年6月18日	
契約の相手方の商号又は名称等	日立金属アドメット(株)関西支店	
入札経緯及び結果	平成25年4月12日 入札公告	
	平成25年6月17日 入札書等〆切	
	平成25年6月18日 開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
仕様書の見直し等	×	
業務等準備期間の十分な確保		従前の納期に比べ、業務に支障がない程度である1月間程度納期を延長した。
公告期間の見直し		公告期間を10日程度延長
公告周知方法の改善	×	
電子入札システムの導入	×	
業者等からの聴き取り		以前参加した業者に聴き取りを行ったところ「製造量減少のため、極印下地の製造から撤退した」とのことであった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
造幣局内で基本的な下地加工技術は確立されているが、現在、市販されている鋼材の中から極印としての使用に耐えうる鋼材を探している状況である。適当な鋼材が見つければ、下地への加工業者の開拓、加工の内製化を進める予定である。		
契約監視委員会のコメント		
貨幣製造に欠かすことのできない原材料である貨幣極印に適合する鋼材の安定的供給の観点も考慮しつつ、鋼材の調査・選定、下地加工業者の開拓や加工の内製化についての努力を継続し、一者応札の解消に取り組まれた。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
貨幣極印に適合する鋼材について、安定的供給の観点も考慮しながら、その調査・選定、下地加工業者の開拓、コスト削減を図りつつ下地加工内製化などの努力を継続し、一者応札の解消に取り組む。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
全員(平成25年10月7日付議)		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。